

# ～自然豊かな暮らしを取り戻すために～

## 第5回福島県環境再生活動発表会

今回は「基調講演」に、震災後から福島県を中心に活動されている木村真三先生をお迎えして、自然豊かな暮らしを取りもどすために、市民それぞれが行動できることを考えます。木村真三先生は原発事故の直後から現在まで、海・山・川の放射線の調査をはじめ、技術開発・子ども向けの放射線学習・地域支援を含めた市民科学者の養成講座開催など、幅広く市民への情報提供を行っておられます。ぜひこの機会にご参加ください。



### ◆ 木村 真三 先生 ご紹介 ◆

2011年3月11日の福島第一原子力発電所事故後、放射線測定の草分け的存在、岡野眞治博士と共に福島各地を周って放射線量を測定する。同時に採取した土壌サンプルを大学の原子力工学の専門家に送り、放射性核種の分析を依頼。放射能汚染地図を作成する。この現地調査の様子が5月NHK ETV 特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」として放映され、福島県の詳細な放射能汚染測定値がはじめて一般に公開された。6月には続編が放映され、福島第一原子力発電所の正門から1km離れた住宅地で採取したサンプルの分析結果を公開。プルトニウムやニオブが敷地外から発見されたことに注目が集まった。この他、チェルノブイリ原子力発電所事故の影響で汚染被害を受けたウクライナのキエフ州ナロージチ地区の住民の健康調査も行っている。新潮45(2013年3月号)にて「双葉町には160年帰れない」との見解を出している。

◆日時：2013年12月15日(日) 11:00～15:30

◆会場：専門学校WiZ 国際情報工科大学校 自動車整備実習センター1階  
「放射線・電気工学科教室・測定室」(福島県郡山市方八町2-4-15)

◆参加費：無料

### ◆◆◆ 当日プログラム (演題・スケジュールなど一部仮のものを含みます) ◆◆◆

◆午前の部(11:00～12:00)…基調講演「今地域で起きている事とこれからの向けて」木村 真三 先生  
獨協大学准教授、国際協力支援センター国際疫学研究室博士(地球環境学)、NPO 法人放射線衛生学研究所理事長

◆昼食会(交流会・パネル発表) \*お昼は郡山市逢瀬町の「かーちゃんず」によるまかない付き！  
・パネル発表…郡山女子大学ナチュラルライフスタイル同好会、日本大学工学部、文京学院大学、  
ふくしま学生支援ネットワーク、専門学校WiZ 国際情報工科大学校

◆午後の部(13:00～15:00)… 環境再生活動発表

- ①「赤トンボの舞う風景の再生へ向けた水田づくり」 宮城大学 食産業学部 環境システム学科 今野 智貴さん
- ②「農の力と市民の力による持続可能な共生の時代へ」NPO 法人福島県有機農業ネットワーク 理事長 菅野 正寿さん
- ③「獣害を減らし、人と自然もイキイキと暮らせる地域を目指して」有限責任事業組合おーでらす代表 今野 万里子さん
- ④「郡山市における自然体験活動」 郡山ふるさと田舎体験協議会 会長 棚橋 千秋さん
- ⑤「除染の実際について一過酸化水素水洗浄法による除染実績の紹介」 庄建技術株式会社 技術士 高橋 正則さん

◆15:00～15:30 発表者・参加者によるディスカッション

◇共催：NPO 法人福島環境カウンセラー協会・認定 NPO 法人  
自然環境復元協会・専門学校 WiZ 国際情報工科大学校

◇協力：NPO 法人放射線衛生学研究所、NPO 法人福島県有機農業ネットワーク、福島県自然保護協会、ふくしま学生支援ネットワーク、宮城大学、文京学院大学、郡山ふるさと田舎体験協議会、逢瀬いなか体験交流協議会

◇後援(仮)：郡山市、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島

### お申し込み・お問い合わせ

◆下記まで「お名前・連絡先」をお知らせください。

宗像 亮 (運営担当)

E-mail [muna2568@yahoo.co.jp](mailto:muna2568@yahoo.co.jp)

PHS: 070-5479-8730

国際情報工科大学校地域環境学科非常勤講師、環境再生医中級(環境教育部門・自然環境部門)、2級ピオトップ管理士(計画・施工)、NPO 法人放射線衛生学研究所会員、第3種放射線取扱主任者・森林除染業務研修修了